

令和2年度

自己点検・評価報告書

(令和3年2月実施)

神戸理容美容専門学校

## 神戸理容美容専門学校 教育理念・目標

- 1.真心込めた朗るい挨拶
- 2.人と人とのつながり気配り心配り
- 3.美しいものに憧れ、その人をより美しくする心を育てる

神戸理容美容専門学校 学則

### 第1章 総則

(目的)

第1条 本校は、教育基本法及び学校教育法並びに理容師法及び美容師法に従い、理容師・美容師養成に必要な知識、技術を教授し、あわせて広く社会人としての教養を培い、もって公衆衛生の向上と、社会の発展に貢献することを目的とする。

### ◆評価項目の達成及び取組状況

#### 基準1 教育理念・目標

| 評価項目  | 適切 4、<br>やや不適切 2、<br>不適切 1 | ほぼ適切 3 |   |   |
|---|----------------------------|--------|---|---|
| a.学校の理念・目標・育成人材像は定められているか                     | 4                          | 3      | 2 | 1 |
| b.学校における職業教育の特色は何か                            | 4                          | 3      | 2 | 1 |
| c.社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来像を抱いているか                 | 4                          | 3      | 2 | 1 |
| d.学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか    | 4                          | 3      | 2 | 1 |
| e.学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4                          | 3      | 2 | 1 |

#### <現状>

a,d 本校の教育理念・教育目標・教育方針はホームページで開示している。入学生に対しては「入学のしおり」に記載し、オリエンテーション、入学式にて配布・説明し、機会がある毎に伝え周知徹底している。

b 単に国家資格を取得させるだけではなく、業界の方々との接点を多く設け、職業観の育成に力を注いでいる。

c,e 理容師、美容師としての心構え、求められる人材を把握させ、サロンに支持される学校となるよう、教育の質の向上に注力している。

#### <今後の課題、方策等>

指導者の技術力向上に力を入れ、また校舎内設備、施設等の環境を整備していく。

専門科目については、豊富な経験のある講師による授業を行い、今後も活用できる授業を構築していく。

さらに時代の流れやニーズに合わせた教育を常に点検し見直していく。

今後は現役理容師、美容師による技術披露の授業も取り入れ、業界関係者との接点を多くすることにより、教科書に記載されていないことにも取り組んでいきたい。

基準2 学校運営

| 評価項目  | 適切 4、ほぼ適切 3<br>やや不適切 2、不適切 1 |
|---|------------------------------|
| a.理念等に沿った運営方針が策定されているか                        | ④ 3 2 1                      |
| b.運営方針に沿った事業計画が策定されているか                       | ④ 3 2 1                      |
| c.運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、または有効に機能しているか | ④ 3 2 1                      |
| d.人事、給与に関する規定等は整備されているか                       | ④ 3 2 1                      |
| e.教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか              | ④ 3 2 1                      |
| f.業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか              | ④ 3 2 1                      |
| g.教育活動等に関する情報公開が適切になされているか                    | 4 ③ 2 1                      |
| h.情報システム化等による業務の効率化が図られているか                   | ④ 3 2 1                      |

<現状>

a～f 理事会及び評議委員会にて意思決定した法人の運営方針、事業計画に基づき、本校の中長期計画で学校運営を実施し、執行した内容等を報告している。

また、学校運営を行うための諸規定や諸規則について整備しており、適切に運営している。学内各種会議の機能の明確化と年間スケジュールも年度始めに決定している。

g シラバス、担当教員等は学校事務所内で自由に閲覧可能にしている。

h 履修システムを導入し、履修簿のデータ化を構築している。また、在校生管理、学生入試情報のクラウドシステムを導入し(令和元年度)、情報管理や学生募集の効率化を図っている。

<今後の課題、方策等>

現在教育活動、学内外の学生の行動等はホームページやSNSで発信しているが、より見やすく分かりやすい内容に改善していく。

基準3 教育活動

| 評価項目  | 適切 4、ほぼ適切 3<br>やや不適切 2、不適切 1 |
|---|------------------------------|
| a.教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか                             | ④ 3 2 1                      |
| b.教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | ④ 3 2 1                      |
| c.学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか                                     | ④ 3 2 1                      |
| d.キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか          | ④ 3 2 1                      |
| e.関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか                             | ④ 3 2 1                      |
| f.授業評価の実施・評価体制はあるか  | 4 ③ 2 1                      |
| g.職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか                                | ④ 3 2 1                      |
| h.成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか                             | ④ 3 2 1                      |
| i.資格取得等に関する指導体制。カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                        | ④ 3 2 1                      |
| j.人材育成目標に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか                        | ④ 3 2 1                      |
| k.関連分野における業界等との連携において優れた教員(兼務含む)を確保しているか                      | ④ 3 2 1                      |
| l.関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組みが行われているか | ④ 3 2 1                      |
| m.教員の能力開発のための研修等が行われているか<br>教員を確保しているか                        | 4 ③ 2 1                      |

<現状>

- a～c 各教科の到達はシラバスに示し授業を進めている。理容師美容師資格取得が大前提で、個々の学生の習熟度、理解度を把握しレベルに応じて入念にサポートしている。各技術の基本を勘案しカリキュラム編成をしている。知識・技術の修得、人間性と総合的な教育目標が明確に定められている。
- d 医療美容、スタイリングマップ等理容師美容師としてさらなる知識を身につける実践的な授業を設けている。
- f 教員の授業力を高めるため、定期的に技術手合わせを行っている。
- g 組合関係者等からの意見やアドバイスを取り入れている。
- i～m 随時改善している。
- k まつ毛エクステ、メイク、ネイル等第一線で活躍されている講師の授業を実施している。

<今後の課題、方策等>

資格、免許の必要性、重要性を真に理解させることがモチベーション向上にもつながることから、今後も学生個々に対してサポートしていく。  
 教員については、外部の研修、講習等への参加を推奨し、一層の自己研鑽に努めることが望まれる。また、教員の人材を充足することが現在の課題であり、急務である。

基準4 学修成果

| 評価項目                                     | 適切 4、ほぼ適切 3<br>やや不適切 2、不適切 1 |
|--|------------------------------|
| a.就職率の向上が図られているか                         | ④ 3 2 1                      |
| b.資格取得率の向上が図られているか                       | ④ 3 2 1                      |
| c.退学率の低減が図られているか                         | 4 ③ 2 1                      |
| d.卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか             | ④ 3 2 1                      |
| e.卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか | 4 ③ 2 1                      |

<現状>

a～c 資格取得の向上、国家試験での毎回高い合格実績を挙げており、今後も継続できるよう指導を強化する。

就職希望者の就職率は高く、極めて100%に近い。毎年サロン説明会を行い、就職先のミスマッチをなくし、離職率提言をしている。学生の就職活動は担任が綿密に把握し、内定に至るまで丁寧にサポートしている。

クラス担任制なので、進路や生活面に対する悩みがある学生に対し、早い段階でメンタルケアをし、保護者と連携を取り早期解決に努めている。

d,e 卒業生の動向については、卒業生の学校訪問等で、情報を得る機会を設けている。

また、在学時の担任を介して、コンテスト等の受賞状況を知り得る機会も多い。

<今後の課題、方策等>

学修意欲の維持、向上に努め、問題点に早期解決できるように取り組んでいく。

基準5 学生支援

| 評価項目                      | 適切 4、ほぼ適切 3<br>やや不適切 2、不適切 1 |
|---------------------------|------------------------------|
| a.進路・就職に関する支援体制は整備されているか  | ④ 3 2 1                      |
| b.学生相談に関する体制は整備されているか     | ④ 3 2 1                      |
| c.学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | ④ 3 2 1                      |
| d.学生の健康管理を担う組織体制はあるか      | ④ 3 2 1                      |
| e.課外活動に対する支援体制は整備されているか   | ④ 3 2 1                      |
| f.学生の学内生活環境への支援は行われているか   | ④ 3 2 1                      |
| g.保護者と適切に連携しているか          | ④ 3 2 1                      |
| h.卒業生への支援体制はあるか           | ④ 3 2 1                      |
| i.在校生への留学支援体制はあるか         | 4 ③ 2 1                      |

<現状>

- a 各担当が綿密に行っており、自己の将来目標を明確にさせ、それに準じたサロン選びをサポートしている。
- b 担任、主任が中心に行っているが、内容により学内全体で対応するよう整備している。
- c 日本学生支援機構の年間スケジュールに沿って説明、案内をしている。  
経済的理由で退学することのないよう、許容範囲で個々の事情に合わせた学費分割納入に応じ  
ている。
- d 学校入口に手指消毒液、体温計測機を常備、各教室に空気清浄器、次亜塩素酸水の噴霧器  
を設置、また時間を決めて空気の入れ替えをしている。  
レントゲン検診、インフルエンザ集団予防接種を行い、健康管理に努めている。
- f 各クラス担任が学級日誌に記録し、問題事項があれば教職員全体に情報を開示している。
- g 保護者との連絡をまめに取り、少しの変化も報告をし、連携して早期問題解決している。
- h 求人紹介、スキルUP資格取得、国家試験再受験支援、就職相談、個別相談等を行っている。

<今後の課題、方策等>

欠席の多い学生は多々問題を抱えているケースが多いため、退学者を出さないためにも、今後も  
電話連絡、保護者との三者面談等により学生の現状提供、疎通を計っていくことを強化していく。  
今後はカウンセラーによる相談などの体制も整える必要があると考えている。

基準6 教育環境

| 評価項目   | 適切 4、ほぼ適切 3<br>やや不適切 2、不適切 1 |
|--|------------------------------|
| a.施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか           | ④ 3 2 1                      |
| b.学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | ④ 3 2 1                      |
| c.防災に対する体制は整備されているか                          | ④ 3 2 1                      |

<現状>

- a 手洗い場の温水使用を可能としている。実際のサロンに見立てた実習室等の完備をしている。校内メンテナンスに関しては、月に一度建物管理会社の点検を実施しており、整備を確立している。毎日の清掃を学生、職員で行っていることで衛生管理に対する意識向上に繋がっている。
- c 年に一度避難訓練を実施し、実際に学生に消火活動をさせ、防災に対する意識付けを行っている。

防犯カメラの設置をし対策を講じている。

学内・通学途中の事故に備えて、学生災害傷害保険に加入している。

<今後の課題、方策等>

- a 計画的に設備・施設の環境整備に取り組む。
- c 学内の安全管理においては、担当者を決めており、指揮連絡系統は明確にしてあるが、防災・安全等に関するマニュアルの整備、緊急時対応の飲料水、防寒シートの設置が必要と考える。

基準7 学生の受け入れと募集

| 評価項目                           | 適切 4、ほぼ適切 3<br>やや不適切 2、不適切 1 |
|--------------------------------|------------------------------|
| a. 学生募集活動は、適正に行われているか          | ④ 3 2 1                      |
| b. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | ④ 3 2 1                      |
| c. 学納金は妥当なものとなっているか            | ④ 3 2 1                      |
| d. 入学辞退者に対し、適正な対応をしているか        | ④ 3 2 1                      |

<現状>

a,b 学生募集活動においては、兵庫県専修学校各種学校連合会の規定に沿って適正に行っている。

また、兵庫県下他従来校へのガイダンス参加、学校訪問を行っている。(コロナの影響で中止が多くあった)

今後も活動を継続し、本校に対する理解と認知度を高めていきたい。

オープンキャンパスの実施内容は毎回違った内容となっており、技術体験、授業体験、ショー等で構成している。各回の特性に応じて違った角度から体験してもらえよう工夫している。

c,d 学納金は適正であり、入学前の辞退者についても入学金を除き返金を行っている。

パンフレットの募集要項には2年間の納入金を正確に記載しており、真実性、明瞭性に基づき募集を行っている。

<今後の課題、方策等>

理容、美容志願者の減少、競合校への新たな対策、施策が必要と考える。

定員の確保だけでなく、入学生の資質向上に努め、さらに業界が求める高レベルの学生を排出するべく、今後の募集を検討する。

よりリアルタイムで継続的に行えるようにホームページ、SNSを活用する。



基準8 財務

| 評価項目                        | 適切 4、ほぼ適切 3<br>やや不適切 2、不適切 1 |
|-----------------------------|------------------------------|
| a. 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか | ④ 3 2 1                      |
| b. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | ④ 3 2 1                      |
| c. 財務について会計監査が適正に行われているか    | 4 ③ 2 1                      |
| d. 財務情報公開の体制整備は出来ているか       | ④ 3 2 1                      |

<現状>

財務基盤安定上の要件である学生確保が厳しい状況下にあるものの、現状は概ね健全である。年度予算については、予算編成方針が決定され、これに基づく当年度の予算計画が策定され、予算執行は計画に沿ってなされている。

私立学校法会計基準に基づき、学園内で会計監査を実施しており、理事会、評議員会に報告をしている。

令和元年度よりホームページより基本情報として、財務の情報公開を行っている。

また、事務所内にて学校情報のファイルを常時閲覧することが出来る。

<今後の課題、方策等>

予算と決算に大きな差異がないよう注視する。

基準9 法令等の遵守

| 評価項目                            | 適切 4、ほぼ適切 3<br>やや不適切 2、不適切 1                   |
|---------------------------------|--|
| a.法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | <input type="radio"/> 4    3    2    1         |
| b.個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか    | 4 <input checked="" type="radio"/> 3    2    1 |
| c.自己評価の実施と問題点の改善に努めているか         | <input type="radio"/> 4    3    2    1         |
| d.自己評価結果を公開しているか                | <input type="radio"/> 4    3    2    1         |

<現状>

a,b 専修学校設置基準や関係法令の遵守を徹底し、適正な運営をしている。個人情報についてはネットワーク上でセキュリティー強化の対策を講じている。紙ベースの個人情報は、鍵付きの棚で管理している。

c,d 自己評価の実施、改善、結果の公開は令和元年度より開始しており、ホームページ上に開示している。

基準10 社会貢献・地域貢献

| 評価項目                          | 適切 4、ほぼ適切 3<br>やや不適切 2、不適切 1 |
|-------------------------------|------------------------------|
| a. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか | ④ 3 2 1                      |
| b. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか     | ④ 3 2 1                      |
| c. 地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか    | ④ 3 2 1                      |

<現状>

a 学校施設、設備等の外部への貸し出しの依頼があれば可能な限り応じている。

月に一度学校周辺清掃を教職員及び学生が行っている。

c 中学校のトライやるウィーク実施に協力、また高校に出張し、就職者対象の学生に対しメイク授業を実施している。